



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長 主題：私たちの未来は、今日より始まる

アジア地域会長 主題：ワイズ運動を尊重しよう

東日本区理事 主題：明日に向かって、今日動こう

あずさ部長 主題：あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！

甲府クラブ会長 主題：楽しみながら広げよう、ワイズの心

Joan Wilson (カナダ)

Tung Ming Hsiao (台湾)

利根川 恵子 (川越)

浅羽俊一郎 (東京山手)

丹後 佳代

甲府クラブ
2016年11月会報
●今月の強調目標
ワイズ理解／ファミリーファスト

■今月のことば■

P.マウントフォード会員選

Look to your health; and if you have it, praise God.

Izaak Walton (アイザック・ウォルトン) 1593 - 1683

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

幸せホルモン

会長 丹後佳代

相変わらずの落ち着かない天気が続いて、とうとう秋を通り越し、冬になってしまいましたね。ワイズにとって大行事の1つバザーも終わり、ちょっとホッとしている私です。

さて、今月は ボランティア活動をする「幸せホルモン」が作られるというお話です。ある営業系企業の講演会で、「人のために役に立つ意味」について話をしたいといわれ、この「幸せホルモン」についてお話をしました。

ボランティア活動や人のために何かをするということについて、何が良いのかは精神論で語られることが多いです。しかし、実は「人のために何かをする」ことは科学的にも証明できるのです。人のために何かをすると「オキシトシン」という脳内ホルモンが分泌されます。このオキシトシンは「幸せホルモン」といわれ、人間にとって、良い影響を与えるホルモンです。ストレス軽減や愛情、信頼関係、精神安定を司るには欠かせないホルモンなのです。

そのため、長生きすることにもこの「オキシトシン」は影響していると言われてます。残念ながら「オキシトシン＝幸せホルモン」を増やすことができる食べ物はありません。この「幸せホルモン」は人との関わりを積極的に持つこと、人に良いことをすること、人と喜びを共有することで分泌されます。ワイズ活動はこの「幸せホルモン」を分泌するには絶好の場になっています。

最近、甲府クラブは元気が無いと多くの方から言われるようになってきました。

そこで、今後は、甲府クラブを活発にするにはどうしたらよいか？ 皆さんと一緒に考え行動していきたいと思えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

11月例会

日時：2016年11月8日(火) 18:45～20:45

会場：談露館

担当：国際・交流委員会 司会：渡辺徳之会員

プログラム

- ・開会点鐘 丹後佳代会長
- ・ワイズソング、ワイズの信条
- ・会長挨拶 丹後佳代会長
- ・今月の言葉 マウントフォード会員
- ・ワイズディナー
- ・卓話 「台湾 | YC 報告と感想」
佐宗玲子氏・須郷利貴氏 (中央大学 YMCA)
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 丹後佳代会長

ある人は食べ物があるが、(不健康で)食べられない。
ある(健康な)人は、食べ物がないが、食べたい。
しかし、私たちは食べ物があり、健康もある。
神さまには感謝を捧げよう。

「ザ・セルカーク・グレース」はスコットランドの伝統的な食前感謝です。

10月のデータ

会員数	38名	例会出席	23名
メネット	3名	出席率	61%
ビジター	小山久恵様 (卓話者、東京サンライズクラブ)		
ニコニコボックス	14,880円 (累計 41,300円)		

10月例会報告

10月11日、談露館で10月例会が開催された。丹後会長から、本日お話いただくBFについては、ロースターに詳しく掲載されており、甲府クラブの会員にも開かれている旨の会長挨拶があった。今月の言葉は、田草川会員。先日天に召された鈴木孝子メネットの思い出を



語られた。<小学生の時からお世話になっていて、その後ハイYでも、社会人となってからも常に指導してくださった。YMCAの職員として、またメネットと

してまさに「ぶどうの枝」の存在だった。YM、YWの合同祈祷会にはいつも夫妻でご出席なさっており、その穏やかなお人柄は誰からも愛された>と、しみじみお話された。

いつものディナーの後、東京サンライズクラブの小山久恵様より、豊富な写真を使って、「BF代表オーストラリアの旅」の卓話となった。



1年前の今頃、オーストラリアの12クラブを訪問しました。この国のクラブは地図で見ると狭い地域に固まっているようですが、実は数百キロ離れています。ただ、全部で214名の会員数ですから、人数的にはそれほどありません。また、フィジー島のクラブは若い学生が会員ですが、基本的に例会を開きません。メールのやり取りで活動を決めているとのことでした。

まずは、セントラルコーストクラブを訪れました。この写真の方は、BFで日本を訪れた方でそれ以来交流が続いていました。そしてジーロンでの区大会に参加しましたが、ワイズメンが45人、ゲストが10人と小規模でした。こちらでは男女が別々のクラブとして活動しているところが多くあります。しかし、女性クラブはほとんど国際登録をしていないようです。クラブによっては地元の方向けの宝探しをしきりに開いたりしています。YMCAも商業的だと思います。驚いたのは、全クラブで開会や閉会の点鐘がなかったことです。

小山様は、クラブからの謝礼をニコニコに寄付してくださいました。諸報告は、仙洞田会員より、北口音楽会の案内。露木会員より、バザー、特に献品と食券の買い取り、準備、手伝いへの依頼があった。(石川博)

10月役員会報告

◎10月27日(火) 18:30~20:35 山梨YMCA

◎出席者 丹後、標、小倉、仙洞田、大澤、マウントフォード、荒川

【報告事項】

○10月例会報告：1ページ及び左欄参照

○あずさ部部会の報告：右ページ参照

○11月3日YMCAバザーについての報告：丹後会長より会議の報告があった。バザー準備の日程など。参加人数の把握と、参加を呼びかける。

○その他報告：鈴木会員より故孝子メネットの葬儀に対する御礼のご寄付があり、基金に入れる。長野クラブよりご寄付があり、基金に入れる。東山荘100年募金にクラブより10万円支出した。

【協議事項】

○11月例会について(11月8日、談露館)：国際交流委員会のマウントフォード委員長より、八王子クラブ例会に出席して、中央大学YMCAの学生と打ち合わせをおこなった内容等発表があり承認。

○12月例会について：荒川クラブサービス委員長より、内容はクリスマス例会とするが、詳細は検討中。例会前に礼拝を行い、その際の牧師手配は大澤会員に一任する。さらに委員会で検討する。

○その他 ・会計より、①YMCA年会費と②賛助会費を早めに納入したいと提案があり、協議、承認。

・富士クラブとの交流会：甲府クラブから正式に富士クラブに確認する。

・台南クラブとの交流：マウントフォード会員より日程、旅費など計画説明があった。台南クラブに確認してから進める。

・和歌山クラブとの交流：東山荘でおこなう東西日本区交流会時にするか、名古屋近辺でするか、和歌山クラブに打診して決める。

・第2回「クラブ運営について」：委員会がうまく機能していない。最低年1回は委員会を開きたい。次期会長とのクラブ運営の引き継ぎをしっかりと行い、運営方針を委員会で話し合う。第2例会をおこなって、会員のつながりをもちたい。など意見が出て多くの時間を使い協議をした。(標)

東奔西走

・10月14日(金) 第3回文献・組織検討委員会
四谷事務所 小倉会員

・10月23日(日) 第2回定款改訂委員会
四谷事務所 小倉会員

第20回あずさ部部会報告

10月22日(土)の午後1時30分から在日本韓国YMCAアジア青年センターで、東京山手ワイズメンズクラブのホストで、あずさ部会が行われました。

部会の式典は地下ホールで、小山あずさ部書記の司会、浅羽あずさ部部長の開会点鐘で始まり、聖書、開会の祈りは鈴木田通夫会員。部長挨拶、歓迎の言葉はホストクラブの金本伸二郎会長と続き、利根川東日本区理事の祝辞では、あずさ部部会の20回についてもお話をいただきました。

記念講演もホールで行われ、「アメリカ大統領選挙の最終章と日本」と題して、恵泉女子学園大学名誉教授の蓮見博昭氏の講演会でした。まさにアメリカ大統領が今決まる次期ですので興味深く聞きました。その内容にふれながらヒラリーさんになっても女性有利な社会にはならないだろうとか、今の政治はなかなか変わらない。それどころか日本に対する要求は厳しくなって、日米関係がかわるだろう、ともおっしゃっていました。そして日本と中国の関係にもふれられ、国際関係を考える時間でした。



写真撮影の後、9階に移動して懇親会が開かれました。大野貞次あずさ部次期部長の乾杯で始めると、あずさ部のいわれを八王子クラブの久保田さん、富士五湖クラブの原さんから聞き、特急あずさは甲府が引っ張っている?なんて聞こえたのですが空耳でしょうか。そして、有志合唱を浅羽部長が指揮をとり、即席コーラス隊が数曲歌いました。みなさんが知っている曲ばかりなので、会場全体が盛り上がりしました。終盤に東日本区大会のアピールあり、各クラブのアピールありで、浅羽部長らしい部会でした。出席者は約70名、甲府クラブからの出席者は、丹後、P・マウントフォード、小倉、小倉メネット、標でした。(標)

祝 YMCA永年継続会員表彰

50年継続会員賞 **渋江信俊会員**

25年継続会員賞 **渡辺隆会員・鶴田一郎会員**

YMCAつぼみの芋掘り

10月14日(金)、山梨YMCAのつぼみぐるーぷ(2歳児保育)の子どもたちが、「オーヴェスト農園」で芋掘り体験をしました。「オーヴェスト農園」は現在、大澤、ピーター、仙洞田の3会員が、休日を利用して畑仕事をしているものです。(オーヴェストとはオーガニック(有機)とハーヴェスト(収穫)を合わせた造語)



当日は曇り空でしたが、9人の園児とそのお母さんたちが、露木総主事、大芝先生らに引率されて、元気にサツマイモ掘りに挑戦しました。

今年のサツマイモの出来は今ひとつと言った所でしたが、芋の大きさに驚いたり、畑の虫たちを追いかけたり、子どもたちの歓声で農園は大賑わいでした。(仙洞田)

11月 Happy Birthday

メン	内藤宥一(1日)	北条繁寿(2日)
	中澤大(12日)	丸茂正樹(30日)
	P.マウントフォード(13日)	
メネット	山崎明子(3日)	荒川宏枝(25日)

11月 Wedding Anniversary

渡辺隆♡隆子(4日)	石原祥平♡靖子(5日)
露木淳司♡由美(23日)	
P.マウントフォード♡内藤いづみ(25日)	

今後の予定

11月22日(火)	11月役員会(YMCA 18:30~)
11月26日(土)	東日本区ワイズメネットのつどい (東京YMCA 東陽町センター)
12月11日~12日	アジア太平洋地域年央会議(バンコク)
12月13日(火)	12月クリスマス例会(談露館)
12月20日(火)	12月役員会(YMCA 18:30~)

北口情報

甲府駅北口まちづくり委員会から

第19回きたぐち音楽会 in かいぶらり

秋の夕べのハーモニカ・コンサートと題し、さくらハーモニカクラブの会員17名で演奏します。

日時:11月18日(金) 開場 18:00 開演 18:30

会場:山梨県立図書館 2階 多目的ホール **【入場無料】**

見上げてごらん夜の星を、里の秋、旅愁、庭の千草、小雨降る径、真珠採りのタンゴ、碧空、黒猫のタンゴ、古城、風雪流れ旅など、昔懐かしい曲16曲を演奏します。

第20回きたぐち音楽会

ナナマリ “ハヶ岳南麓ボッサ”を唄う

ハヶ岳南麓に暮らすシンガーソングライター「ナナマリ」が、第一線で活躍するメンバーと共に、話題のニューアルバム「スケッチブック」収録曲を中心に藤村記念館に初登場。

日時:11月25日(金) 開場 18:30 開演 19:00

会場:甲府駅北口藤村記念館 **【入場料 1000 円】**

(内藤)

YMCA たより

公益法人に認定されて最初となる山梨県からの立入検査が、YMCAにて10月27日に行われました。事業活動や財務の状況、ガバナンス、各種規程の整備状況など、3時間半に渡って細かく検査されましたが、概ね問題なしとされ、これでまたしばらくは公益法人として事業を進めることができます。

現在YMCAでは新規事業として児童福祉法に基づく「放課後等児童デイサービス事業」を立ち上げようとしています。発達障がい児のための多機能型デイサービスとして、放課後の学童保育と幼児のソーシャルスキルアップトレーニングを行います。この準備のために今年の春から専門のスタッフを採用し、運営体制を強化していますが、いよいよ本格的にできるところまでこぎつけました。乞うご期待です！（露木）

会長からのお願い

2月例会は委員会ごとに今後のクラブ運営についての話し合いの場といたします。

皆さん、ご出席頂き、多くのご意見をお聞かせ頂きますよう、お願いいたします。

また、4月、5月、6月は新役員会を開催いたします。

闘病生活に想う

—ワイズとの絆—

平原貞美

9月例会に出席した感想は、10月号のブリテンに掲載していただきましたが、喜びとともに感じた、元気のなさは、ヒストリアンの仙洞田ワイズも、心配な点が見られるとして、いくつかの問題点を役員会で指摘なされました（ブリテンに掲載）。この中でも注目したいのは、(1)出席率低下、(2)役員会機能の低下、(3)委員会活動の低迷、の三点です。これらは現況のクラブの問題の根源ではないでしょうか。皆さんはどう思われますか。

ワイズに入会した以上、常に学ぶことで、理解、意欲が湧いてきます。入会の新旧は関係ありません。JCの綱領に、トレーニング—フレンドシップ—サービスという言葉があります。まず自分自身が学ぶこと、そして英知豊かな友人との交わり、さらに培った力を用いて世のため人のために奉仕する。ワイズでも、クラブを活性化し、維持発展させるには、常に刺激が必要だと思います。そのためには、ワイズにとって優れた人材を仲間にする事です。例会で、EMCの大沢委員長を中心に、会員増強の戦略を立ててください。まずは名簿作りです。「甲府クラブ会員増強マニュアル」に基づいて、具体的に動いてほしいと思います。三か月くらいの集中キャンペーンを実施するのも有効です。

ニコニコメッセージ

小山久恵様 7月におじゃまして、また皆様にお目にかかれたこと嬉しく思います。お食事の時、女子会で楽しくおしゃべりできました。

済本会員 今年の10月は小生77歳の誕生日を迎えます。健康で平安の日々を過ごしていることに感謝します。

石川和弘会員 久しぶりに例会に出席できました。会員の近況に接し、驚くとともに情報不足をいたく感じました。鈴木健司様の奥様のご冥福をお祈りいたします。

大澤会員 鈴木孝子メネット永眠直後の例会に黙祷。ゲスト小山様のオーストラリアワイズのお話は有益でした。ありがとうございました。

遠藤会員 天候不順の時期になりました。季節は移り替わって心休まる時はありません。

*他に小山様への感謝のメッセージ(無記名)がありました。